

6月1日(土)、AIFA レフェリーアカデミー合同研修会(2A・2B・3A)を口論義運動公園で行いました。前半は会議室にて代表の審判員が実際に担当した試合の映像を用いて、マネジメント(主にゲームコントロール、選手への対応の仕方など)について発表しました。審判員自身が試合を振り返り、キーになる場面を切り出し、参加者同士でどのような対応がよいのか議論し、場面を再現してマネジメント技術について研修を深めました。今回の取り組みを通し、ただ選手と話をするのではなく、目的や意図をもって適切に選手と関わることの大切さを改めて学びました。

後半はフィールドにてインターバルトレーニング(高強度運動と休息を繰り返す運動)を行いました。今回の目的は高強度領域(最大心拍数の90%以上)での運動を繰り返し行う中で、正しい判断を下すことを目的として実施しました。サッカーという競技は試合の中でスプリントと休息を繰り返すという運動特性があります。審判員はそれを適切な位置で監視し、判断し続けることが求められます。そのため、これに耐えうる体力を維持・向上するためにこのようなトレーニングをかかすことはできません。

審判委員会ではこれから本格的に審判活動をやっていきたい、上級を目指して頑張りたいといった方に対し、各種研修会を開催しています。興味をお持ちの方はお気軽に愛知県サッカー協会にお問い合わせください。

